

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 June



KRT

KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/
テクニカルディレクター挨拶
- ・6月の日程/7月の予定
- ・各セクションの活動報告
- ・スポンサー様一覧
- ・連絡先



KOGAKUIN RACING TEAM



チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今月は、活動の中でチーム全体の成長を感じる場面が多く見られました。特に象徴的な出来事として、1年生だけで空力パーツであるアンダーパネルの製作を、段取りから完遂まで主体的に進めた場面がありました。学生主体の取り組みが着実に根付きつつあり、今後の戦力として大いに期待できる成果となりました。

また、9日にはシェイクダウン証明の提出も完了しました。さらに、28日にはFM 関東様主催の車検勉強会に参加し、今年度の運営方針や審査基準について理解を深める機会となりました。動的審査へ向けて一步前進することができ、大会に向けた準備を積み重ねられた月となりました。

大会まで残りわずかとなりますが、チームとしての成長が確かな形で表れてきています。より完成度の高い車両を目指し、引き続き全員で協力しながら準備を進めてまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月の活動におきましては、日本自動車大学校（NATS）様の施設にて試走を実施いたしました。定常円旋回を通じたサスペンションのセットアップ検証、およびスラローム走行によるドライバーの操縦技術向上を主眼としたテストプログラムを順調に消化しております。

また、本田技研工業株式会社様主催のもてぎ試走会へ参加いたしました。周回コース環境



下での車両セットアップの最終確認に加え、今年度のエンデュランス（耐久審査）を担当するドライバーの選考を実施しております。本番環境に即した実戦的な走行データの収集を通じ、車両性能の最適化とドライバーの習熟度向上を確実なものとしております。

大会本番に向けた組織体制の強化も並行して進めております。今月より新入生を試走会へ積極的に帯同させ、現場での実務を通じた技術および運用ノウハウの継承プロセスを本格化させました。これにより、本大会に向けた運営力の底上げと、次年度以降を見据えたチーム基盤の構築を図っております。

学生フォーミュラ日本大会本番まで、残された期間はわずかとなりました。限られた時間の中で車両の完成度を極限まで引き上げ、万全の体制で大会に臨む所存です。今後とも工学院レーシングチームへ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

6月の日程、7月の予定

2026 年 6 月

	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日
パワトレ	オイルパン組付け		オイル・水入れ		試走準備		NATS試走
足周り	破損パーツ再製作				試走準備		NATS試走
シャシ	組付け				試走準備		NATS試走
エアロ	アンバネ製作				試走準備		NATS試走

	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日
パワトレ	車両バラシ		エキマニ加工			CAD講習	
足周り	車両バラシ		交換用A-arm製作			CAD講習	
シャシ	車両バラシ		予備パーツ製作			CAD講習	
エアロ	車両バラシ		アンバネ製作			CAD講習	

	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日
パワトレ	冷却見直し			試走準備		もてぎ試走	
足周り	交換用A-arm製作			試走準備		もてぎ試走	
シャシ	予備パーツ製作			試走準備		もてぎ試走	
エアロ	アンバネ製作			試走準備		もてぎ試走	

	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日
パワトレ	エキマニ塗装 & GLタンク製作						
足周り	予備カラー類製作						
シャシ	予備パーツ製作						
エアロ	カウル・ステー製作						

	6月29日	6月30日
パワトレ	エキマニ搭載	
足周り	予備カラー類製作	
シャシ	予備パーツ製作	
エアロ	カウル・ステー製作	

2026 年 7 月

	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日
パワトレ	エキマニ塗装		JARI試走		試験準備		試走反省会
足周り	試走前準備		JARI試走		A-arm塗装		試走反省会
シャシ	ペダル製作	ワイヤー放電	組付け	JARI試走		スタイロ準備	試走反省会
エアロ	FW製作		JARI試走		アンバネ修繕		試走反省会

	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日
パワトレ	試験準備		車両積み込み	シャシダイナモメータ	試験結果分析		
足周り	カーボンロッド試験		車両積み込み	シャシダイナモメータ	予備、破損パーツ製作		
シャシ	ドライバーシート製作		車両積み込み	シャシダイナモメータ	ドライバーシート製作		
エアロ	アンバネ修繕		車両積み込み	シャシダイナモメータ	エアロ試験用パーツ製作		

	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日
パワトレ	パーツ組み付け		試走前準備		日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会
足周り	パーツ組み付け		試走前準備		日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会
シャシ	パーツ組み付け		試走前準備		日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会
エアロ	パーツ組み付け		試走前準備		日大試走	大会準備洗い出し	試走反省会

	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日
パワトレ	大会前準備					車両組み付け	
足周り	交換用予備パーツ製作					車両組み付け	
シャシ	大会前準備					車両組み付け	
エアロ	大会前準備					車両組み付け	

	7月29日	7月30日	7月31日
パワトレ	車両最終確認		車両積み込み
足周り	車両最終確認		車両積み込み
シャシ	車両最終確認		車両積み込み
エアロ	車両最終確認		車両積み込み



各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 3年 朝日大介



6月のパワートレイン班の活動におきましては、ご協賛企業様よりご支援いただいた各種アップデートパーツの車両実装、および実走テストを通じた性能検証を実施いたしました。今月は特に、冷却ラインおよびエキゾーストマニホールドのご支援を賜り、大会に向けた車両性能の向上を図っております。各部品の運用状況および検証結果についてご報告申し上げます。

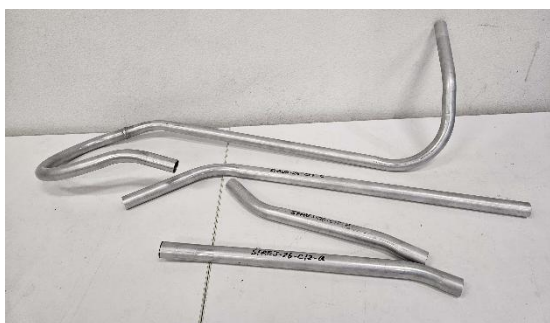


Fig.1 ご支援いただいた冷却ラインとエキゾーストマニホールド

■ 冷却ラインの製作および流量試験

株式会社三五様よりご製作いただいた冷却ライン部品を受領し、チーム内での溶接作業を経て車両への組み付けを完了いたしました。本ラインにつきましては、7月の試走会にて実動状態での機能確認および課題抽出を実施する予定です。また、冷却性能の向上を目的として、ウォーターポンプ（WP）を直列に2基設置し、流量の変化を測定いたしました。結果として、単基運用時の流量約 30L/min に対し、2基運用時は約 57L/min への流量増加を確認しております。しかし、試験時のレイアウトではスワールポット（SP）の直後にウォーターポンプ（WP）があり、稼働させるとスワールポット内の水圧が急激に変化するため、配管内の空気が抜けづらくなるという問題がありました。加えて、同区間での乱流発生によるキ





ヤビテーションのリスクも懸念されるため、耐久走行等の過酷な運用に耐えうるよう、引き続きレイアウトの改良を進めてまいります。

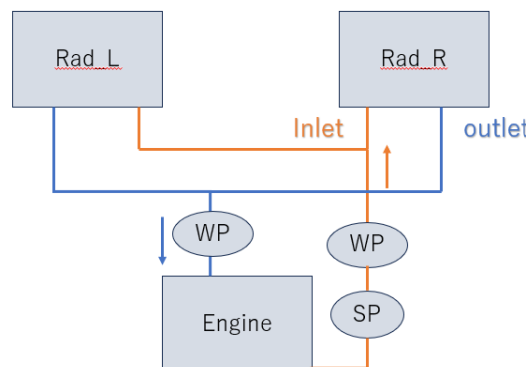
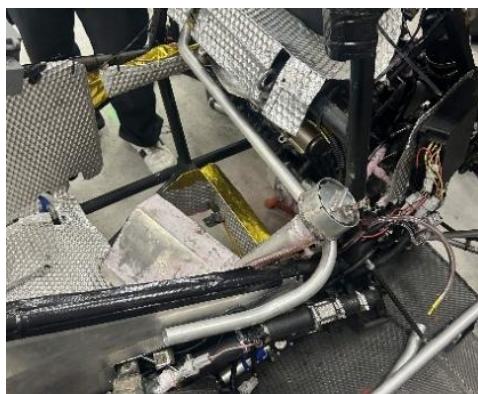


Fig.2 ライン溶接すり合わせ及び、冷却機構試験時のレイアウト

■ エキゾーストマニホールドの実走評価

株式会社黒木工業所様よりご製作いただいたエキゾーストマニホールドにつきましては、6月20,21日にかけてモビリティリゾートもてぎで実施された試走会にて評価を行いました。



Fig.3 試走会中のエキゾーストマニホールド

実走テストにおいて目立った不具合は発生せず、本来の開発目的である「中低速域におけるトルクの増大」について、ドライバーからの官能評価として肯定的なフィードバックを得ております。本件につきましては、7月中にシャシダイナモメータを用いた計測を実



施し、フィーリングだけでなく客観的な数値データに基づく定量的な性能評価を行う予定です。

■ 予備エンジンの受領と次年度に向けた適合開発

本田技研工業株式会社様より、RH17E を予備エンジンとしてご支援いただきました。現在の ECU は純正コンピューターを使用していますが、来年度からはより自由度の高い学生フォーミュラにマッチしたものに変更することを考えております。そのため、コンピューターの適合に使用しより速い車両を実現するために活動してまいります。



Fig.4 ご支援いただいた RH17E

各パーツをご製作・ご支援いただいた協賛企業様には、この場を借りて心より厚く御礼申し上げます。

大会本番まで残された期間は僅かとなりますが、ご支援いただいている皆様のご期待を上回る結果を残せるよう、限られた時間の中で最大限の成果を追求してまいります。引き続き、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 3年 高橋真育



■ セッティング検証

日本自動車大学校（NATS）様のテストコースをお借りして実施した試走会にて、アッカーマンの最適化を目的としたセッティング変更を行いました。定常円旋回を用いた走行データ測定およびドライバーからのフィードバックを基に仕様を選定し、要求される旋回性能を満たすセットアップを特定いたしました。



Fig.5 定常円試験の様子

■ パーツ点検および新入生教育

今後の動的テストにおけるパーツ破損防止を目的に、車両の各パーツを分解し点検を実施いたしました。具体的には、ハブとブレーキディスク締結部のワイヤリング状態の確認、ブレーキラインの精査を行いました。各部品の疲労・破損状況のチェックも行いました。本作業には新入生に積極的に参加してもらい、技術継承の機会といたしました。ブレーキラインの刷新にあたりましては、株式会社プロト様よりブレーキホースおよびバンジョー等一式をご支援いただきました。心より厚く御礼申し上げます。



Fig.6 ご支援いただいたブレーキホース類

■ もてぎ試走会における車両評価と課題抽出

モビリティリゾートもてぎにて実施された試走会では、足回り班としての仕様変更は行わず、エンデュランス担当ドライバーの選考を主目的として臨みました。これまでの試走会と比べて、長時間・長距離の走行となったため、走行の負荷による劣化を特定する機会といたしました。パーツ等の破損なく走行を終えることができましたが、今後は耐久走行を見据えて、全部品に対するチェック体制を再構築し、個々の不備を早期に発見・対処することで、車両の安全性および信頼性のさらなる向上を徹底いたします。

■ 車検講習会への参加と技術規則への適合

FM 関東主催、株式会社 SUBARU 様協力のもと開催された車検講習会に参加いたしました。実際の公式車検を模した形式で審査が行われ、帯同した 2 年生を含むメンバーにとって、本大会に向けた実戦的な経験を積む有意義な機会となりました。本講習会を通じて、自チームでは看過していた技術規則（レギュレーション）への不適合箇所、および車検通過に向けた重要要件を明確に特定することができました。また、他大学との技術交流を通じて得た知見も踏まえ、指摘された不適合箇所の即時改修を進め、本大会における車検の一発通過に向けて万全を期す所存です。





シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 3 年 結解和宏



今月度シャシ班は、各部品の車検適応、各種エビデンス資料の作成、および搭載パーツの製作と改修を主軸に活動いたしました

■ ステアリング

ステアリング機構において、車両への組み付け時に設計公差を超えるガタが発生する事象を確認いたしました。原因としてピニオンギアの穴と軸、およびキーとキー溝間におけるはめあい公差の不足（緩み）が起因していると想定されます。当課題に対して、ワイヤー放電加工を用いたピニオンギアの再製作を実施しており、7 月 19 日に予定されている日本大学理工学部様主催の試走会にて、改修版の実機搭載および性能評価を行う予定です。

■ アクセルペダルの再設計・製作

新規製作したアクセルペダルについて実機検証を実施した結果、解析上では十分な剛性を確保していたものの、実際の踏力に対し想定以上のたわみが生じる不具合が判明いたしました。この結果を受け、剛性要件を見直し、現在再製作工程に入っております。本部品につきましても、同 7 月 19 日の試走会にて実働評価を実施いたします。



Fig.7 再設計したアクセルペダル



■ 車検適合に向けた外装・内装部品の改修

6月28日の車検勉強会に向けてテンプレートを用いた干渉確認を行いました。アクセルワイヤステーとの干渉が確認されたため、車検勉強会までにテンプレートをクリアさせるため、該当ステーの再溶接を行い、無事干渉を無くすに至りました。

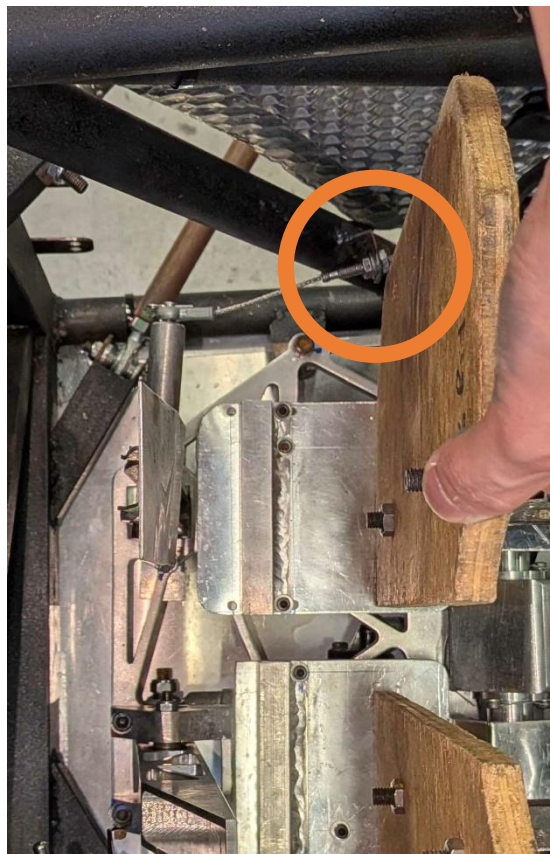


Fig.8 干渉が発生した箇所（オレンジ部）

勉強会当日は、アイボルト周辺のクリアランス要件に関するレギュレーションへの不適合を指摘されました。これらを車検適合させるため、サイドパネルおよびファイアウォールの再設計と再製作を現在進めております。また、本大会に向けたドライバーシートの新規製作も並行して進行中です。上記すべての改修および新規製作部品は、7月19日の試走会にて車両への導入と最終適合確認を完了させる計画です。大会本番における公式車検の一発通過を必達目標とし、残る期間でシャシパーツにさらなる磨きをかけ、より高い完成度と信頼性を求めてまいります。



エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 3年 菊地祐汰



6月の活動におきましては、日本自動車大学校（NATS）様所有のテストコースおよびモビリティリゾートもてぎにて、計2回の試走を実施いたしました。また、公式大会を見据えた車検勉強会へ参加し、車検適合に関する知識の共有を行いました。

車検勉強会では、実際の大会車検を想定したご指摘やアドバイスを数多くいただき、チーム内のセルフチェックだけでは身につかない視点を学ぶことができました。大会前に貴重な経験を積むことができ、車両の完成度向上につながる有意義な機会となりました。会場をご提供いただいた株式会社 SUBARU 様、ならびに企画・運営をしていただいた FM 関東様に、心より感謝申し上げます。

日本自動車大学校での試走では、一部パーツが破損するアクシデントが発生しました。



Fig.9 破損してしまった箇所



しかし、パーツ製作を早い段階で完了していたため、速やかに修復を行い、次回の試走までに再搭載することができました。本作業には一年生メンバーも積極的に動員し、エアロパーツ製作の知恵と技術を着実に継承させております。



Fig.10 修繕したアンダーパネル

もてぎでの試走は、ドライバー選考を行ったこともあり、かなり長時間の走行となりましたが大きなトラブルが発生することなく走行を終えることができ、車両の完成度をさらに高めることができました。

7月はいよいよ大会に向けた最終準備の期間となります。車両の最終調整を進めるとともに、昨年課題となった静的審査でも高得点を獲得できるよう、プレゼンテーションや資料の準備にも尽力してまいります。



スポンサー様一覧

HONDA

Tools by Sanjo Niigata

KYOWA **ONO SOKKI** **ThreeBond**

digiCraft **SOLIDWORKS** **IDAJ** **JARI** **KIMURA**

NATS 学校法人 日栄学園 日本自動車大学校 **VI-GRADE** **HEXA JAPAN** 株式会社 日研製作所

sgl carbon **enable** **SANYO Inc.** **シケマツ** **HKS**

WAKOS **HTFT** Honda TechnoFort **住友電装** **Fomo Japan**

ANA Tech **KYOWA** **ATJ** **ST-LINK** 株式会社 エステーリンク **TPR**

THK **NSK** **LECOFRAME** **OUTSTA** **BUSYU** BUSYU KOGYO CORPORATION

HI-LEX Toray Carbon Magic Co.,Ltd. **SANGO** **F-Tech** ティエステック株式会社

FUKAI **3.peaks** **ANEX** **KEIBA** **MATUI** **NIFCO** **Anker** Innovations JAPAN

CROSSLOAD KOYAMA **DIXCEL** ADVANCED BRAKE TECHNOLOGY **TeSec** **X.A.M.** **XENOVA** **NDC**

TTS TOTAL TECHNICAL SOLUTIONS **U-KART CIRCUIT** Tokyo / Akimura **southco** **ねじのハム** **パイオランテ** **igus** motion for longer life

PLOT **FESTIK** CIRCUIT TOCHIGI **K's Design&Paints** SHOW THE ORIGINALITY! **Hitachi Astemo** **WD-40** **公進ケミカル株式会社**

HANDY CROWN **NOK** **NHKニッパツ** **BILLION** **EK CHAIN** **Kingsma** **三協エーサー**

工学院大学校友会 工学院大学機械系同窓会 工学院大学学生フォーミュラ OB 会

工学院大学 自動制御研究室



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 3 年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17 号館 1 階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

Twitter: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

